

巻末資料 5

空中写真判読にもとづく
現地確認のための留意点

埼玉県の地滑りにおける区域設定時の留意点として以下の3点があげられる。

- ・ 基盤図と現地が異なる場合
- ・ 既往ブロックを基礎調査時に再設定する場合
- ・ 古い地滑り地形へ設定する場合

(1) 留意点1：基盤図と現地が異なる場合

(i) 概要

空中写真判読による地形調査結果と基盤図による地形調査結果に差異が生じる場合、基盤図で十分に地形が表現されていない可能性がある。また、空中写真においても影になっており地形判読が困難な箇所が存在する場合、基盤図で十分に地形が表現されていない可能性がある。

(ii) 調査上の留意点

- ①砂防基盤図は空中三角測量で作成されているため植生直下の微地形が表現されない場合がある。一方、滑落崖、分離小丘、段差地形等地滑りの区域形状を決める上で重要な地形も十分に図化がされていないと、現地調査時に地滑り地形そのものの把握に問題が生じる。既往図面がある場合は、既往図面と基盤図の差異について現地調査実施前に確認する。
- ②古い撮影時期の空中写真も利用する。
- ③現地調査において確認された基盤図と現地地形との差異を調書に記録する。

(2) 留意点2：既往ブロックを基礎調査時に再設定する場合

(i) 概要

既往調査が実施され、対策工が施工された既存ブロックが設定されている。

(ii) 調査上の留意点

対策工施行済みのブロックについては、空中写真判読、現地調査を実施したうえで、地形の連続性を確認し地滑り区域を設定する。

既往調査でブロック形状のみが設定されている箇所については、空中写真判読、現地調査を実施したうえで、地形の連続性を確認し地滑りする恐れがある箇所を抽出し地滑り区域を設定する。

(3) 留意点3：古い地滑り地形へ設定する場合

(i) 概要

空中写真判読及び防災科学研究所の地すべり地形分布図において地形全体としては古い地滑り地形を呈す。一方で、カルテでは小さな部分（ブロック）も抽出されている。いずれの範囲を区域設定の範囲とするか留意が必要となる。

(ii) 調査上の留意点

空中写真判読、現地調査を実施したうえで、地形の連続性を確認する。地滑り地形が判読されたとしても、その全域を地滑りとして設定したほうがよいか、部分的に設定したほうがよいか検討が必要である。たとえば、現地調査により河川や沢による浸食により斜面の不安定化が懸念される区域を地滑り区域として設定する。

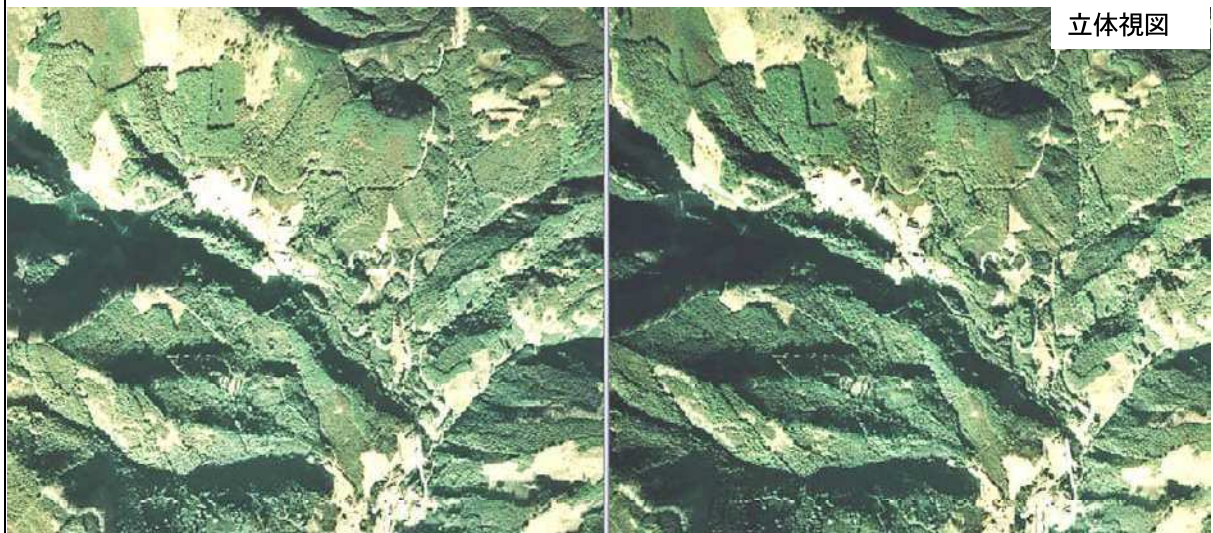
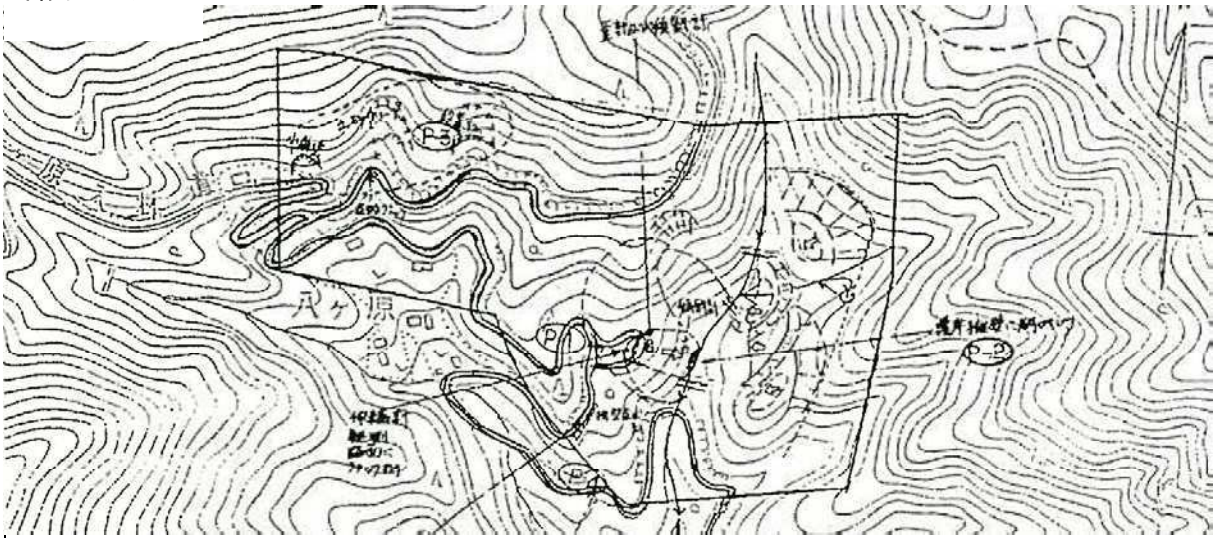
埼玉県内の他地区地すべり危険箇所において区域設定する際の留意点を以下に示す。

表 留意点とりまとめ箇所一覧

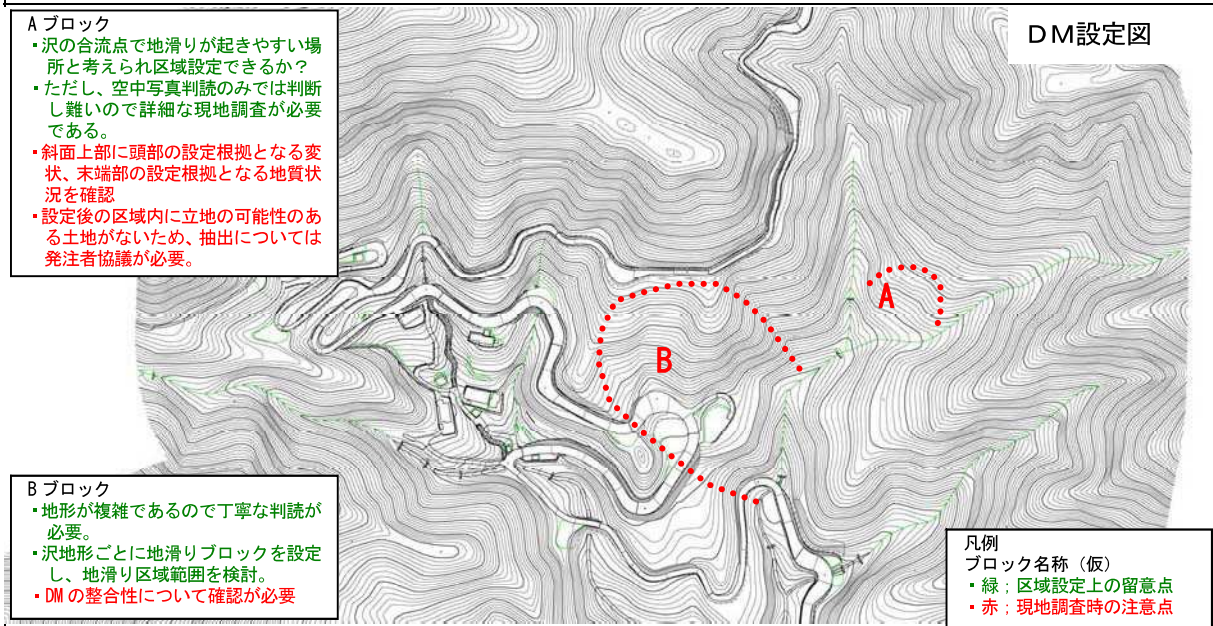
箇所番号	箇所名	ブ ロ ック	基盤図と現地が異なると考えられる箇所	既往との違いが大きくなると予想される箇所	古い地滑り地形への設定箇所
1-1	沢口	A	○		
		B	○		
1-4	梅ノ久保	A		○	
		B		○	
		C		○	
1-5	間野	A	○		
		B	○		
1-6	東風影	A		○	
		B			○
2-2	白石	A			○
2-8	栗和田	A			○
		B	○		
		C			○
2-11	牧場	A		○	
2-19	奥畑	A		○	
2-23	赤木	A		○	
		B		○	
		C		○	
		D		○	
4-10	平沢	A			○
		B	○		
		C	○		
4-11	本泉	A		○	
		B			○
		C	○	○	
4-12	寺山	A	○	○	
		B	○	○	
		C			○
4-15	下稻沢	A		○	
		B		○	
		C		○	
		D		○	
4-17	生野山		○	○	
5-1	金尾	A	○	○	
		B	○	○	
5-2	未野	A	○	○	
		B	○	○	
		C	○		

整理番号 ; 1-1	箇所名 ; 沢口	位置 ; 名栗村大字上名栗字湯の沢
------------	----------	-------------------

斜面カルテ



立体視図



DM設定図

Aブロック

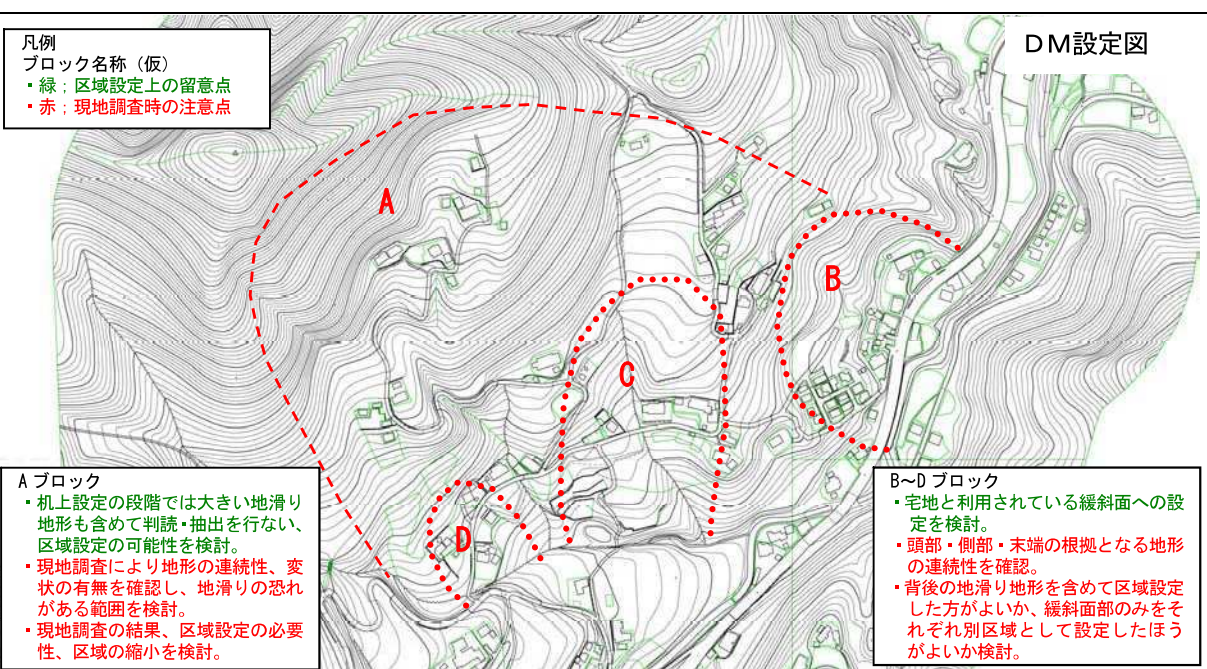
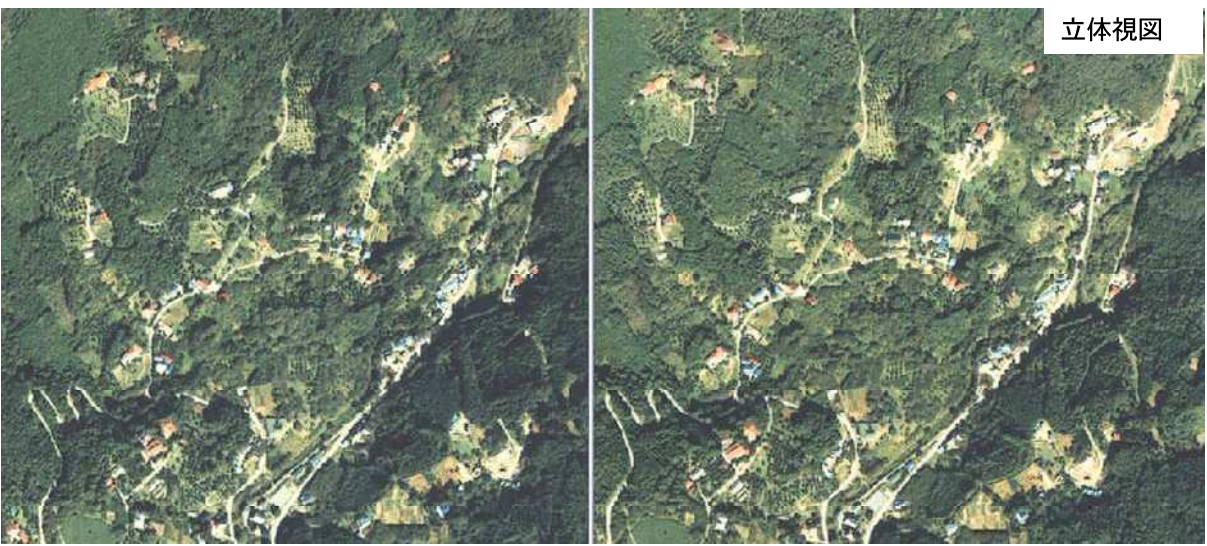
- ・沢の合流点で地滑りが起きやすい場所と考えられ区域設定できるか？
- ・ただし、空中写真判読のみでは判断し難いので詳細な現地調査が必要である。
- ・斜面上部に頭部の設定根拠となる変状、末端部の設定根拠となる地質状況を確認
- ・設定後の区域内に立地の可能性のある土地がないため、抽出については発注者協議が必要。

Bブロック

- ・地形が複雑であるので丁寧な判読が必要。
- ・沢地形ごとに地滑りブロックを設定し、地滑り区域範囲を検討。
- ・DMの整合性について確認が必要

凡例
 ブロック名称(仮)
 ・緑；区域設定上の留意点
 ・赤；現地調査時の注意点

整理番号 ; 1-4	箇所名 ; 梅ノ久保	位置 ; 越生町大字黒山字梅ノ久保
------------	------------	-------------------



整理番号；1-5

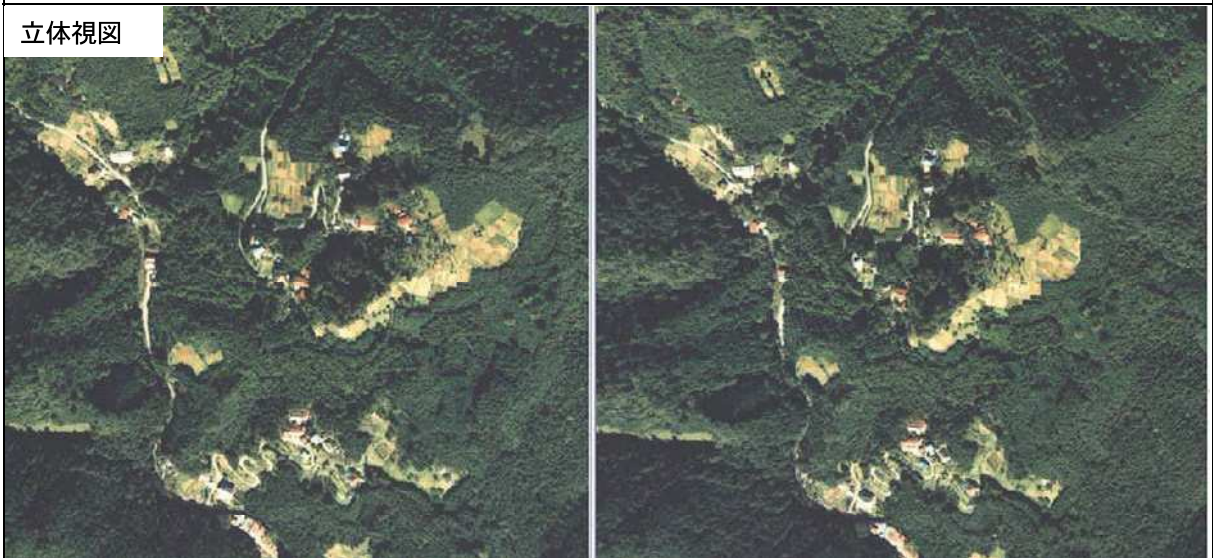
箇所名；間野

位置；飯能市大字虎秀字間野

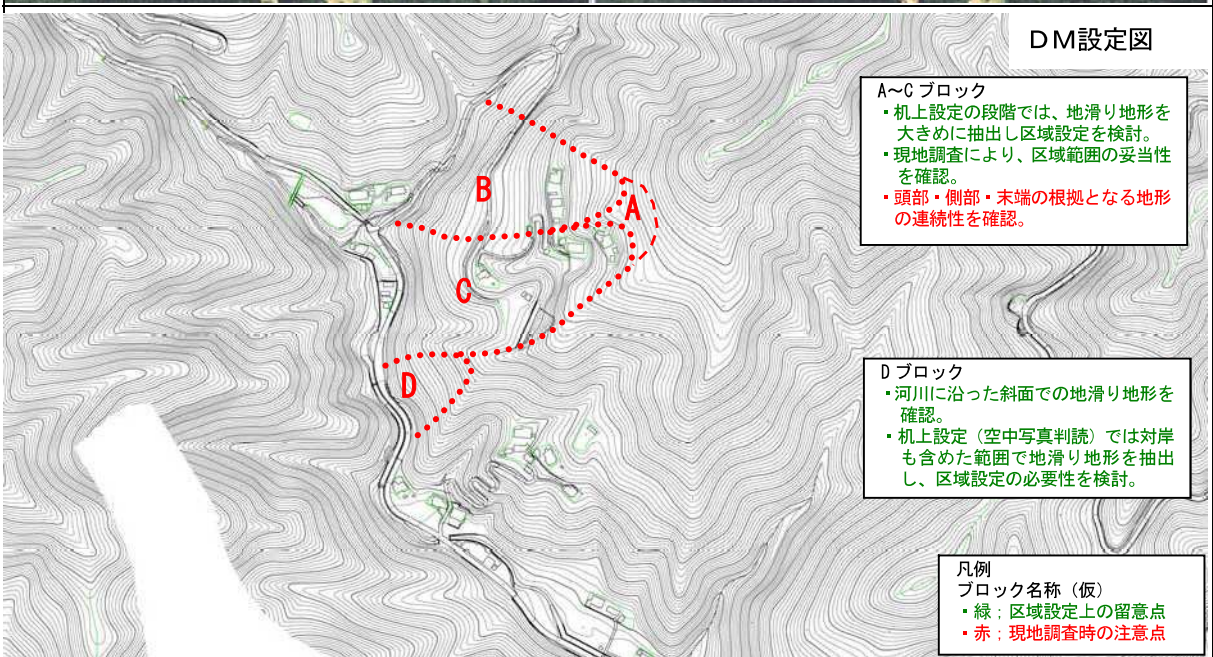
斜面カルテ



立体視図



DM設定図

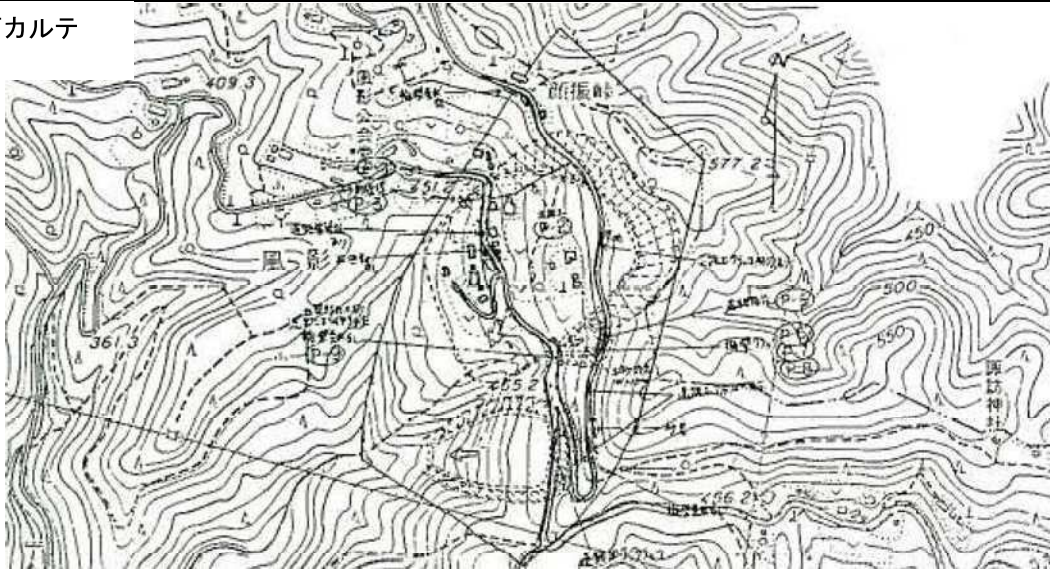


整理番号 ; 1-6

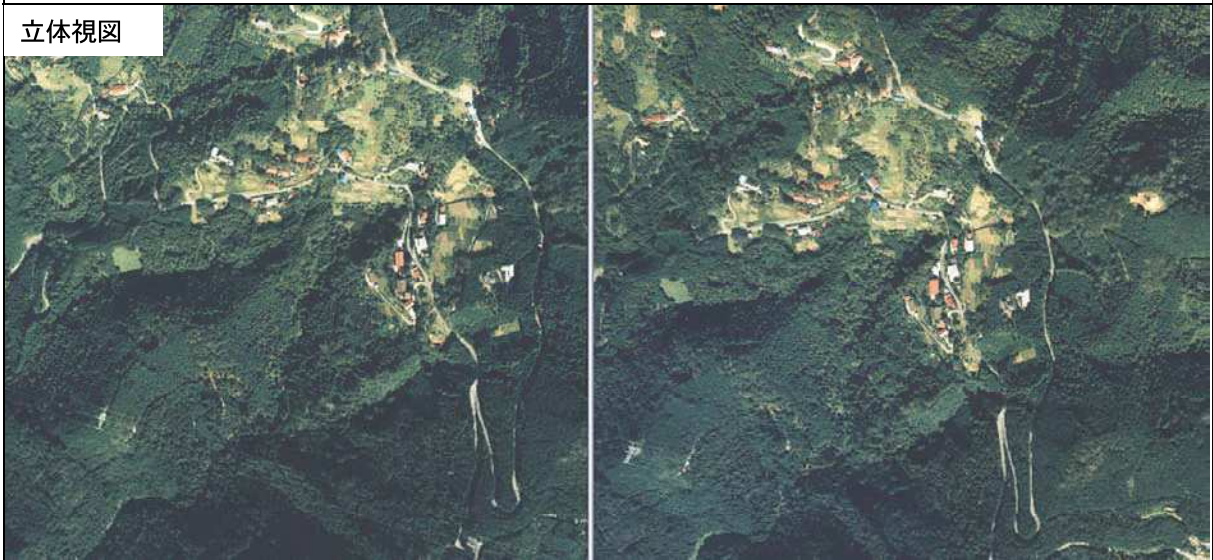
箇所名 ; 東風影

位置 ; 飯能市大字長沢字東風影

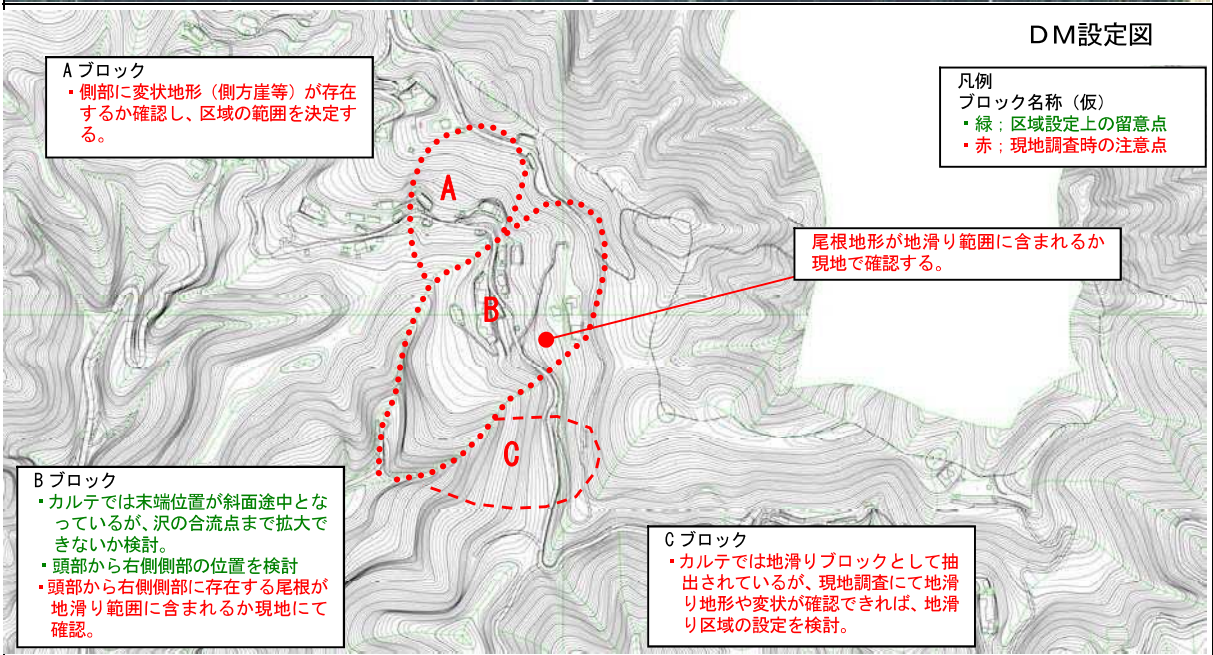
斜面カルテ



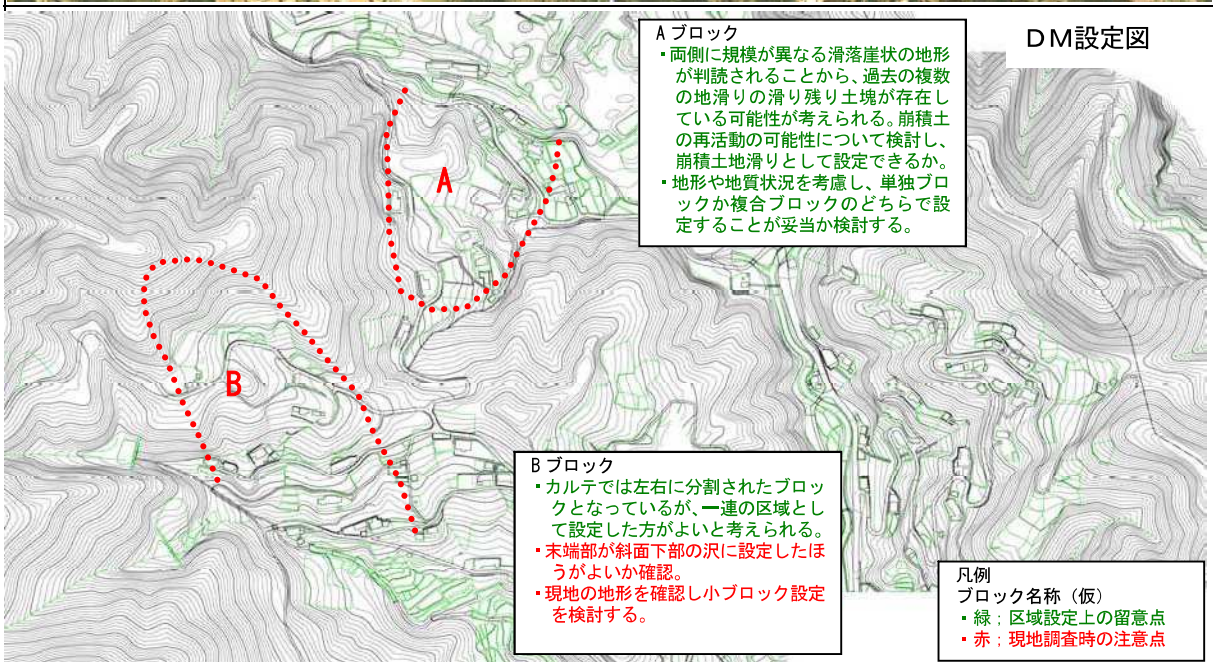
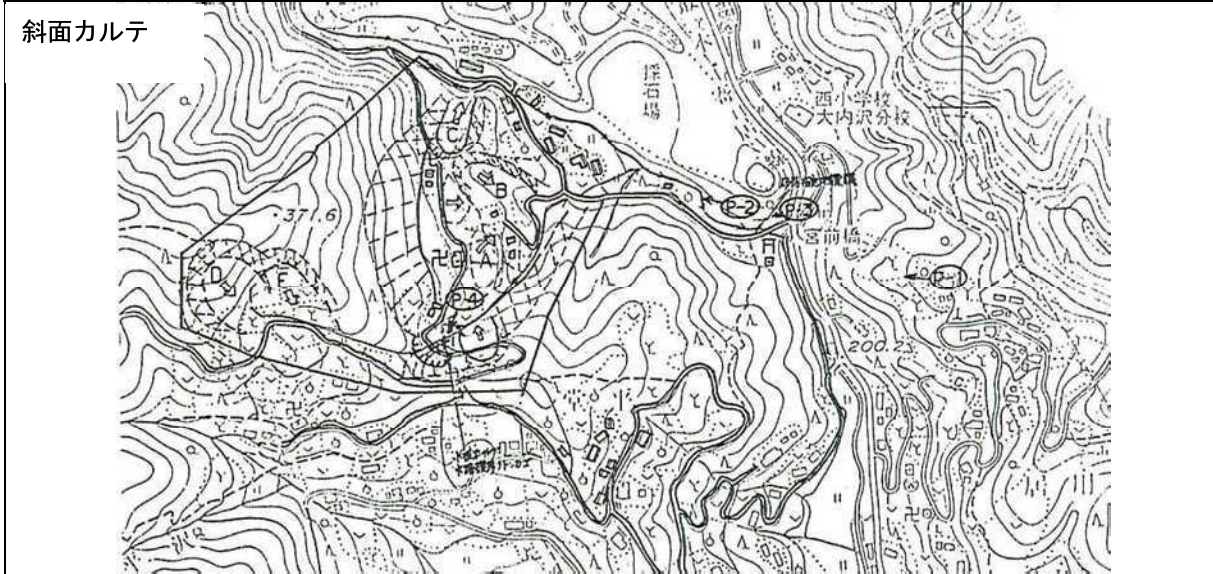
立体視図



DM設定図



整理番号 ; 2-2	箇所名 ; 白石	位置 ; 東秩父村大字大内沢字白石
------------	----------	-------------------



整理番号；2-8

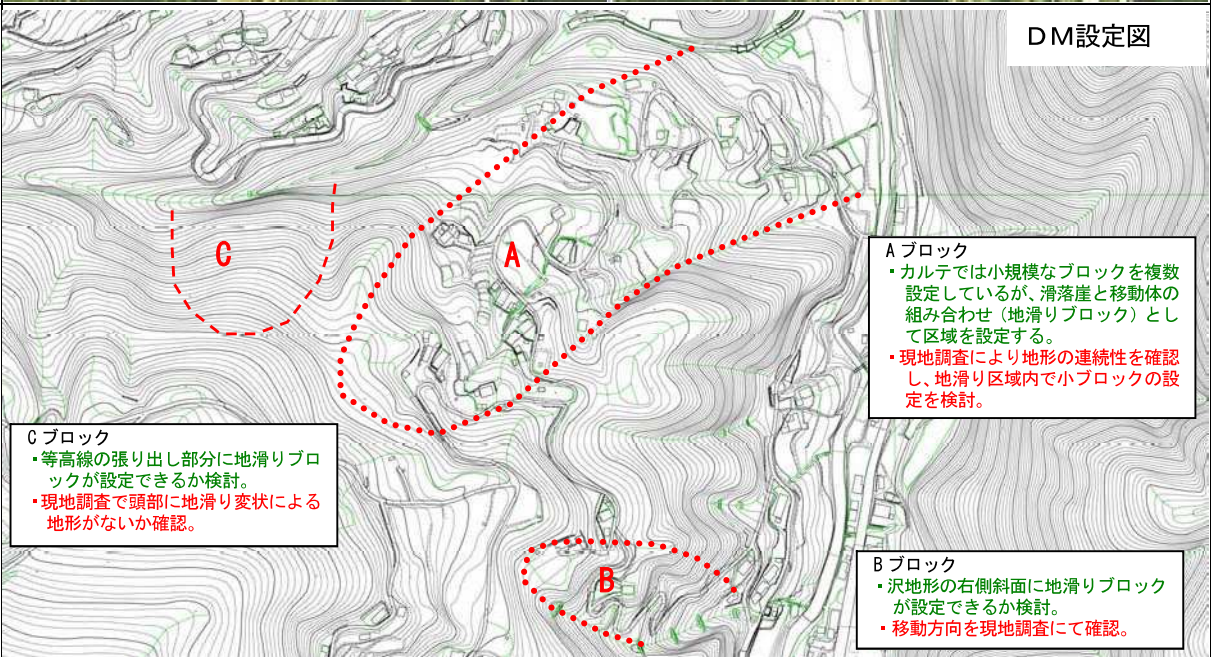
箇所名；栗和田

位置；東秩父村大字栗和田字子安戸

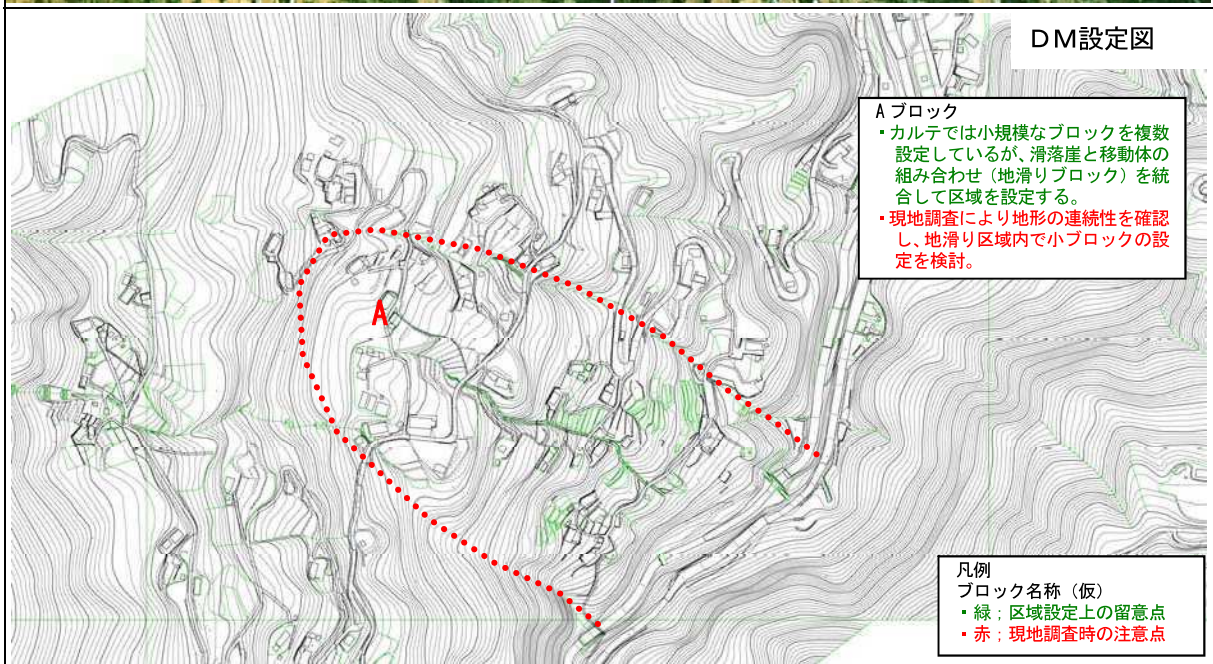
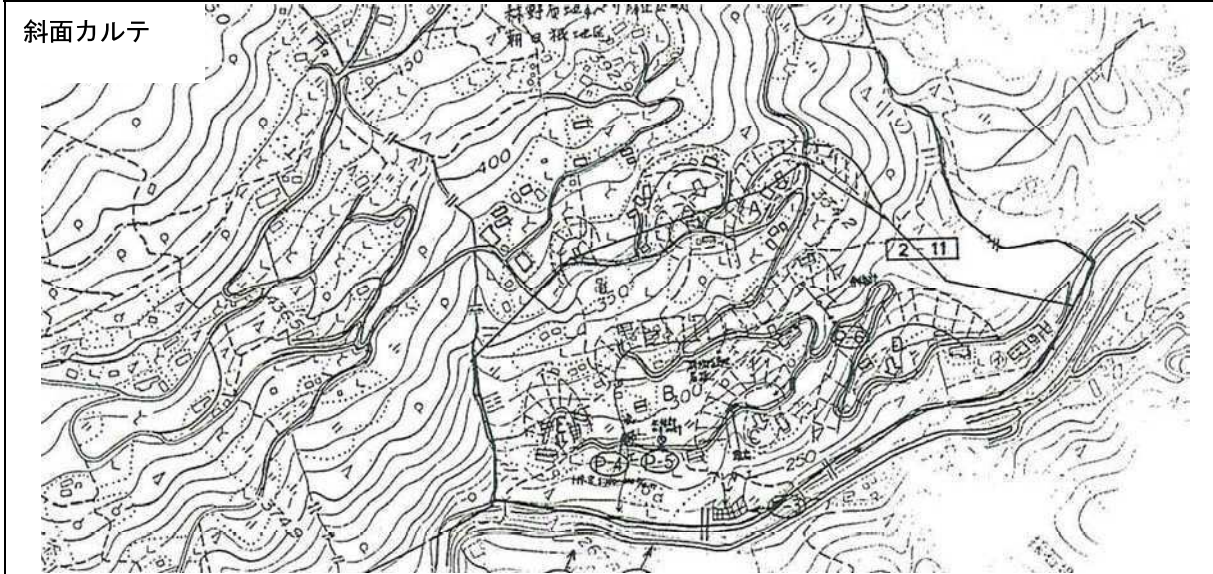
斜面カルテ



立体視図



整理番号 ; 2-11	箇所名 ; 牧場	位置 ; 東秩父村大字皆谷字朝日根
-------------	----------	-------------------

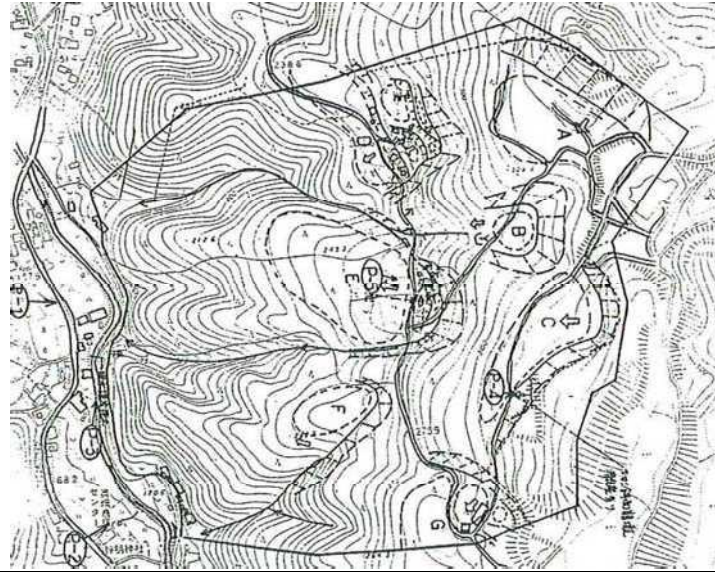


整理番号 ; 2-19

箇所名 ; 奥畑

位置 ; 都幾川村大字西平字宮尾根

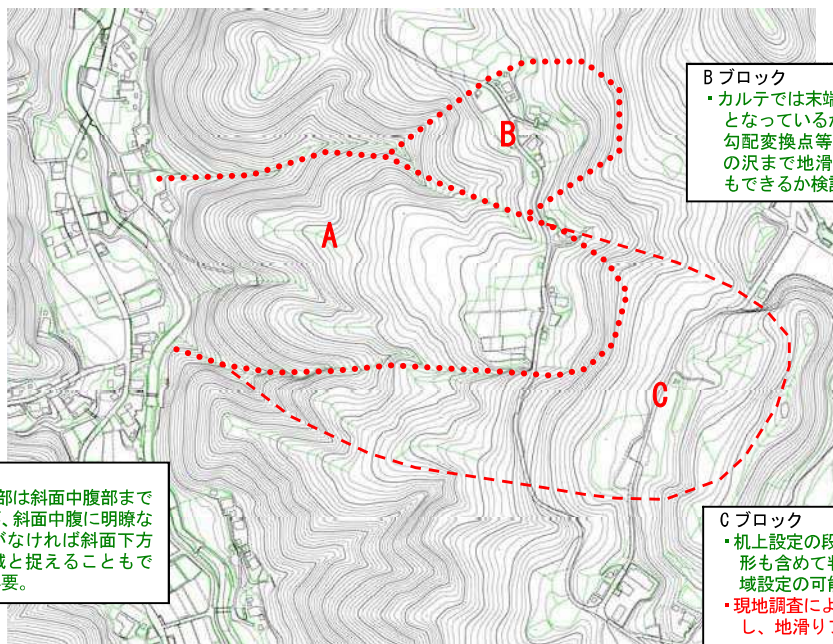
斜面カルテ



立体視図



DM設定図



Aブロック

- ・カルテでは末端部は斜面中腹部までとなっているが、斜面中腹に明瞭な勾配変換点等がなければ斜面下方まで地滑り区域と捉えることもできるか検討が必要。

Bブロック

- ・カルテでは末端部は斜面中腹部までとなっているが、斜面中腹に明瞭な勾配変換点等がなければ斜面下方の沢まで地滑り区域と捉えることもできるか検討が必要。

Cブロック

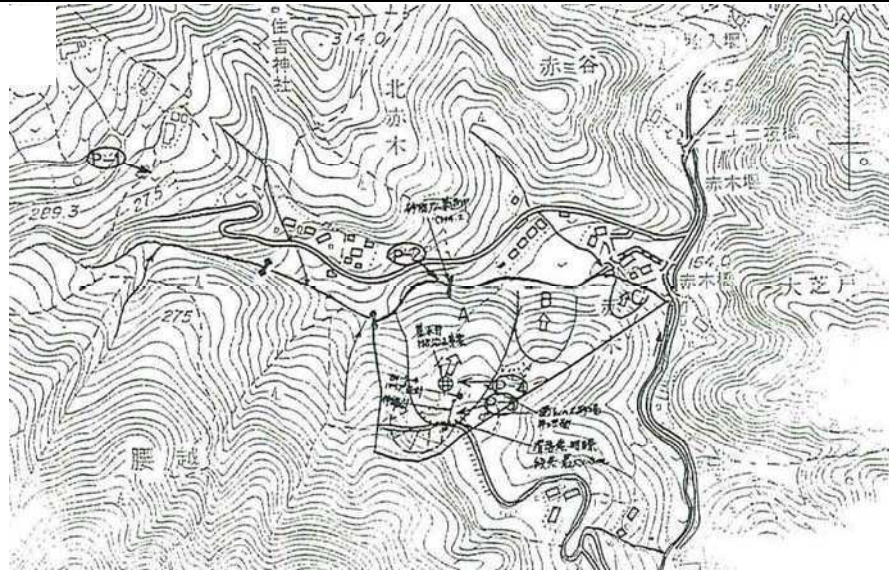
- ・机上設定の段階では大きい地滑り地形も含めて判読・抽出を行ない、区域設定の可能性を検討
- ・現地調査により地形の連続性を確認し、地滑りブロックの設定を検討。

整理番号 ; 2-23

箇所名 ; 赤木

位置 ; 小川町大字腰越字赤木

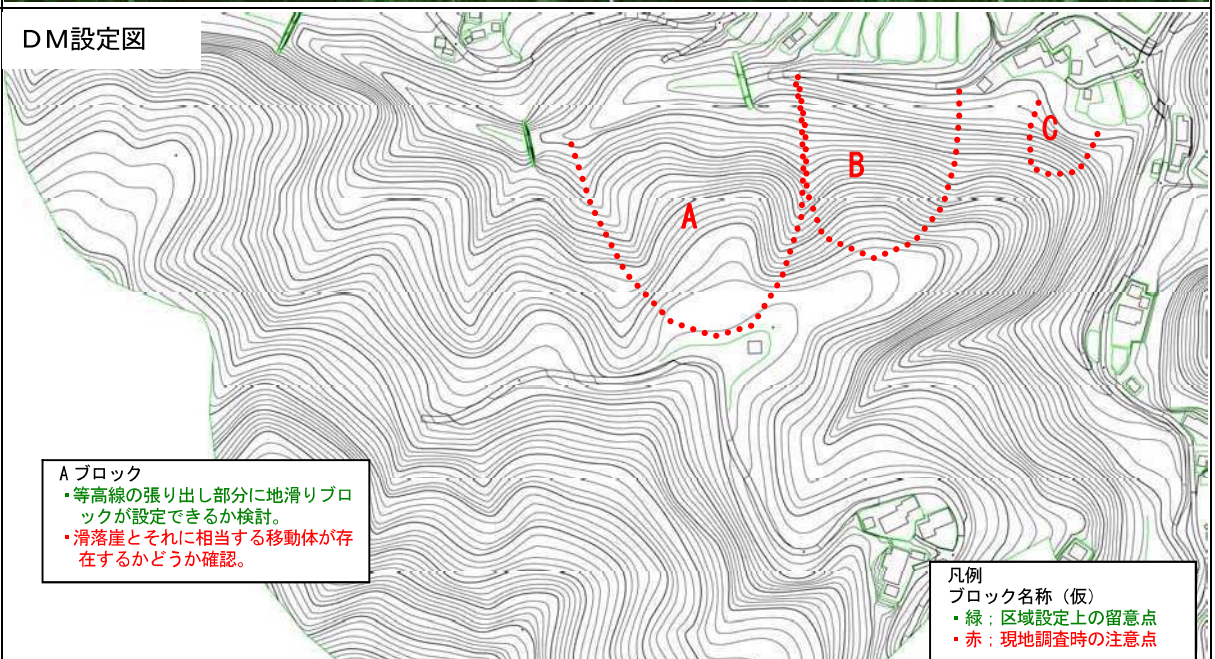
斜面カルテ



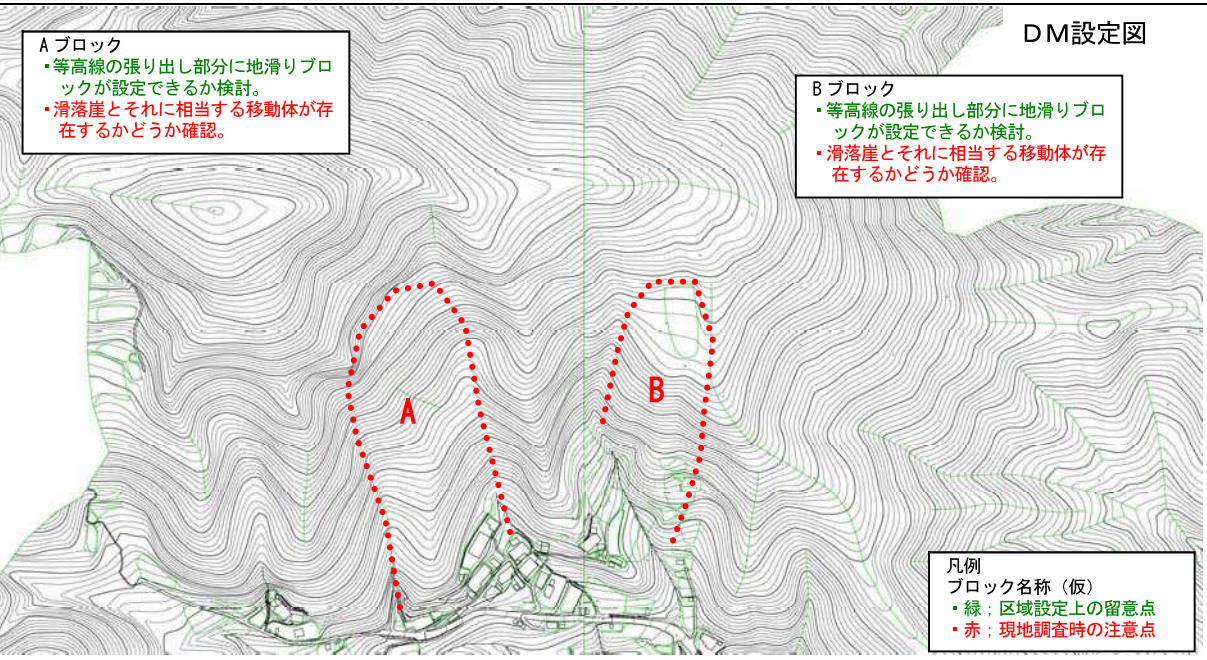
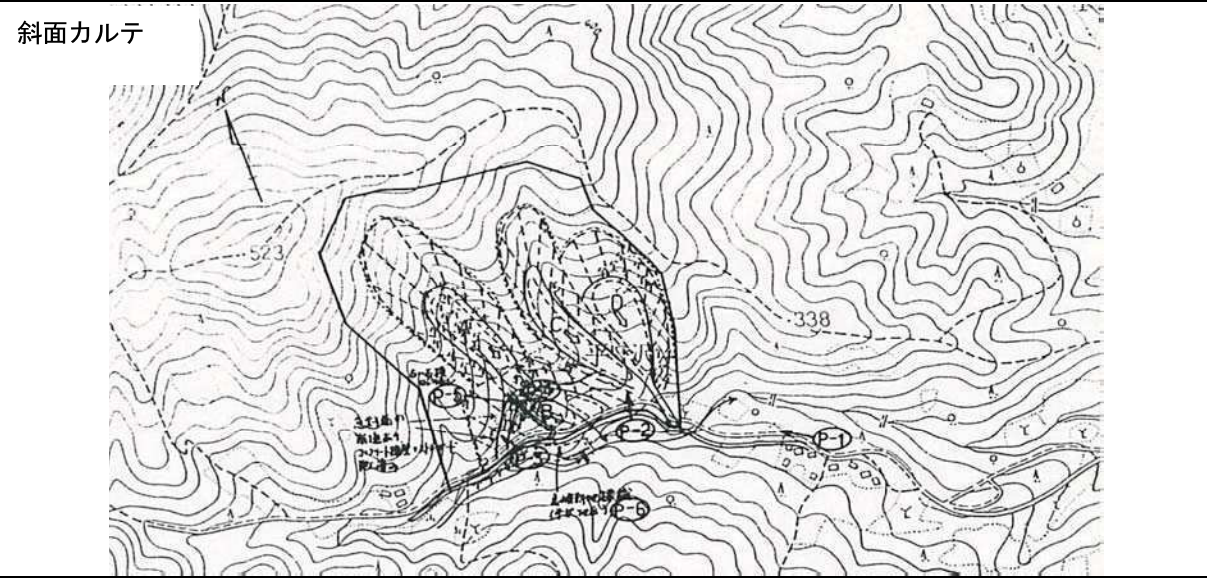
立体視図



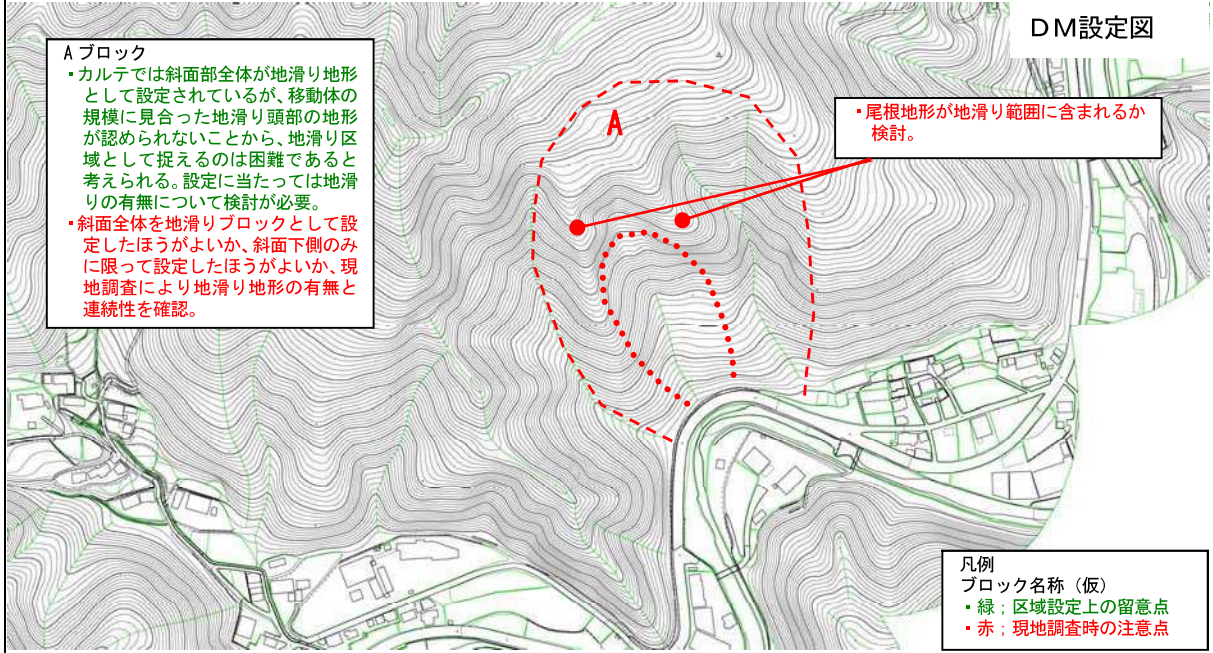
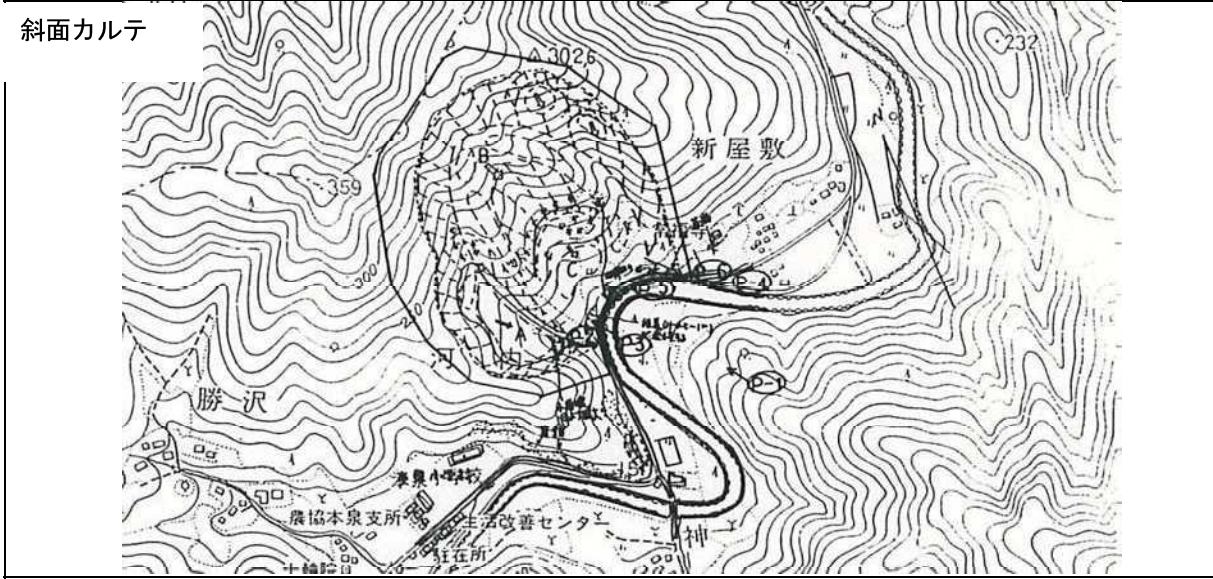
DM設定図



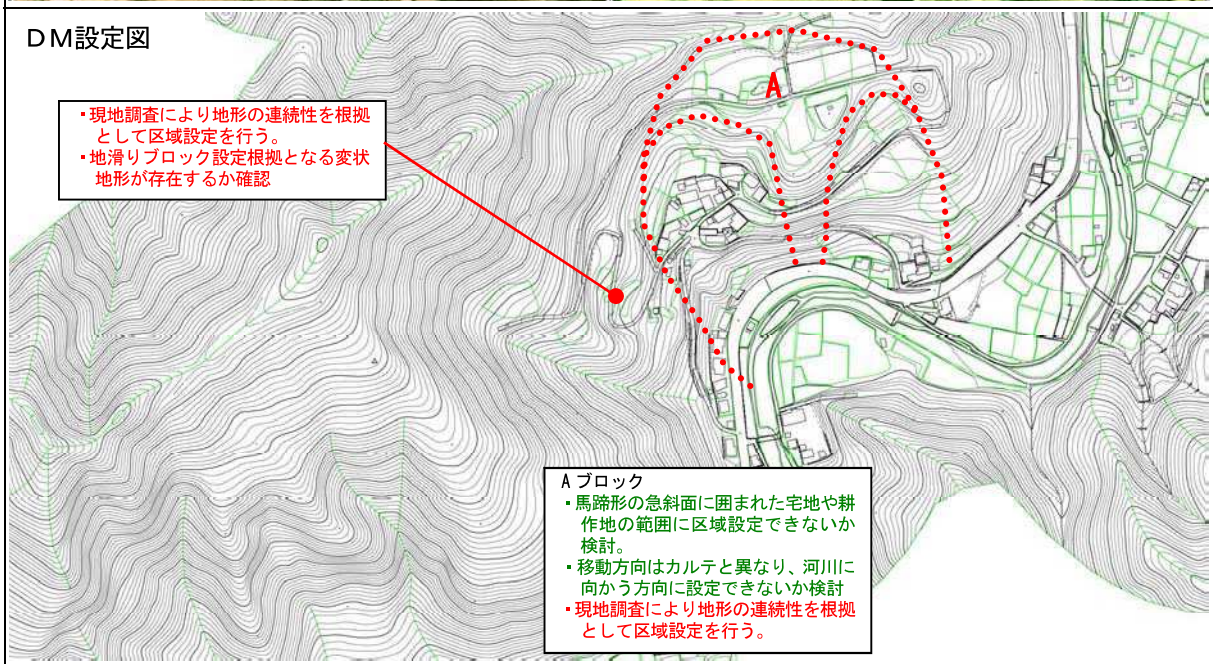
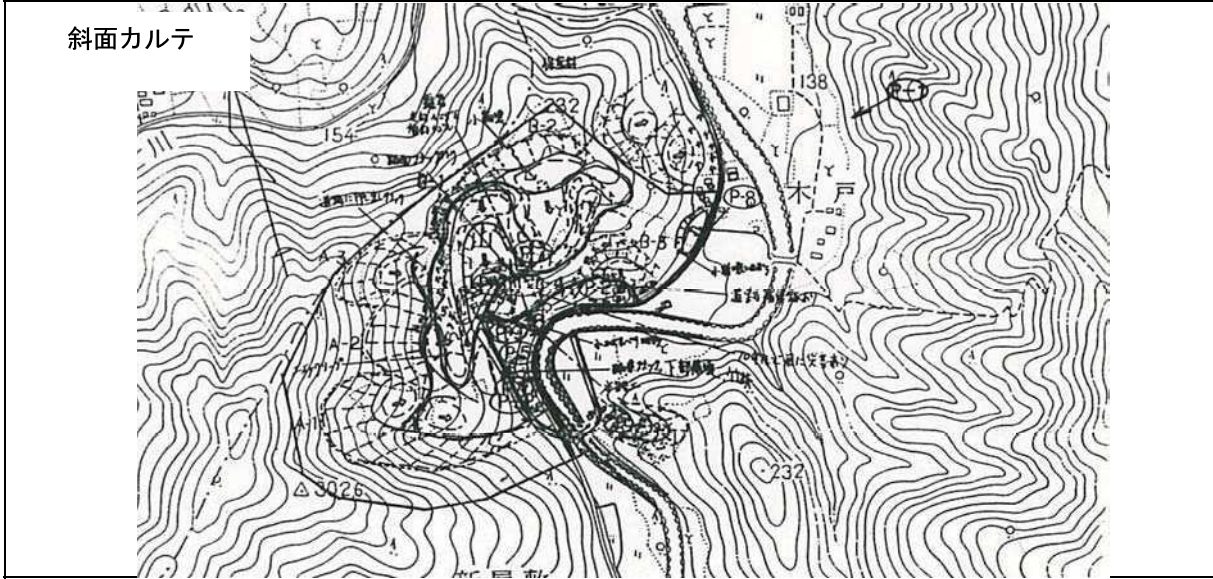
整理番号；4-10	箇所名；平沢	位置；児玉町大字太駄字平沢
-----------	--------	---------------



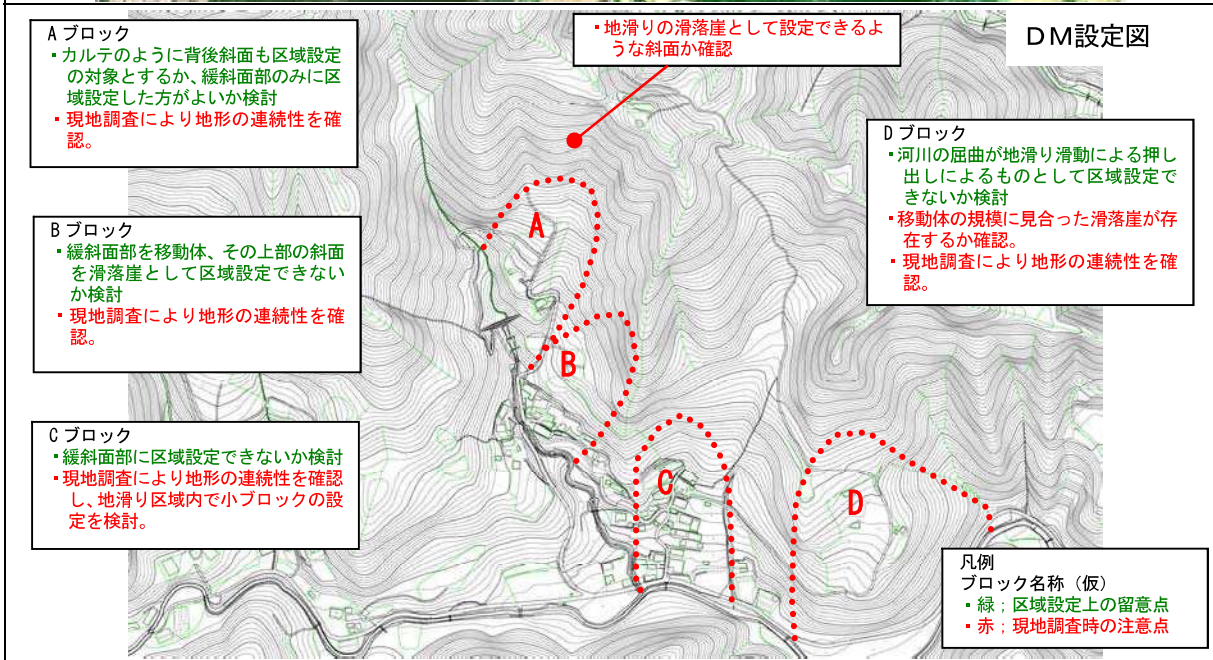
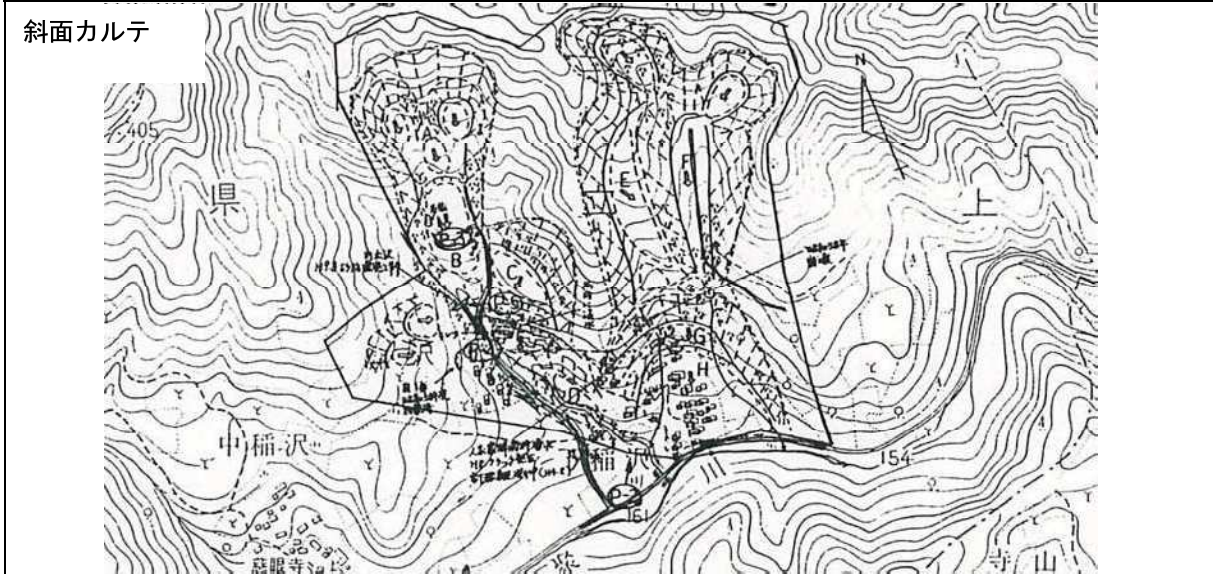
整理番号；4-11	箇所名；本泉	位置；児玉町字河内字下勝沢
-----------	--------	---------------



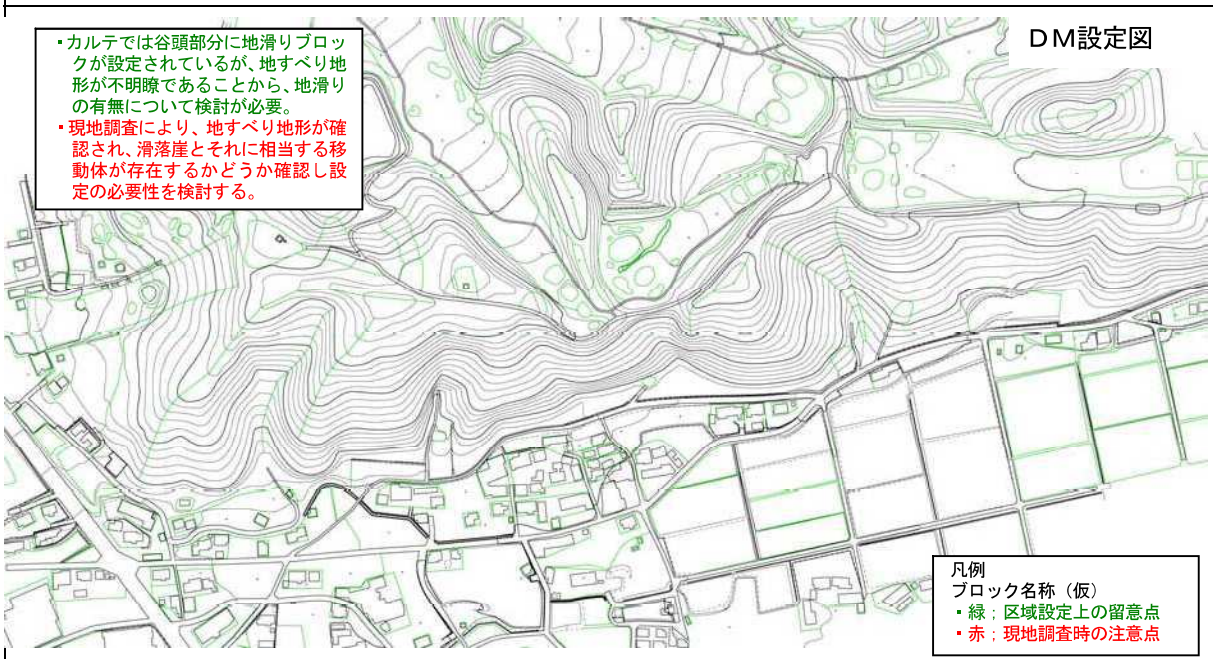
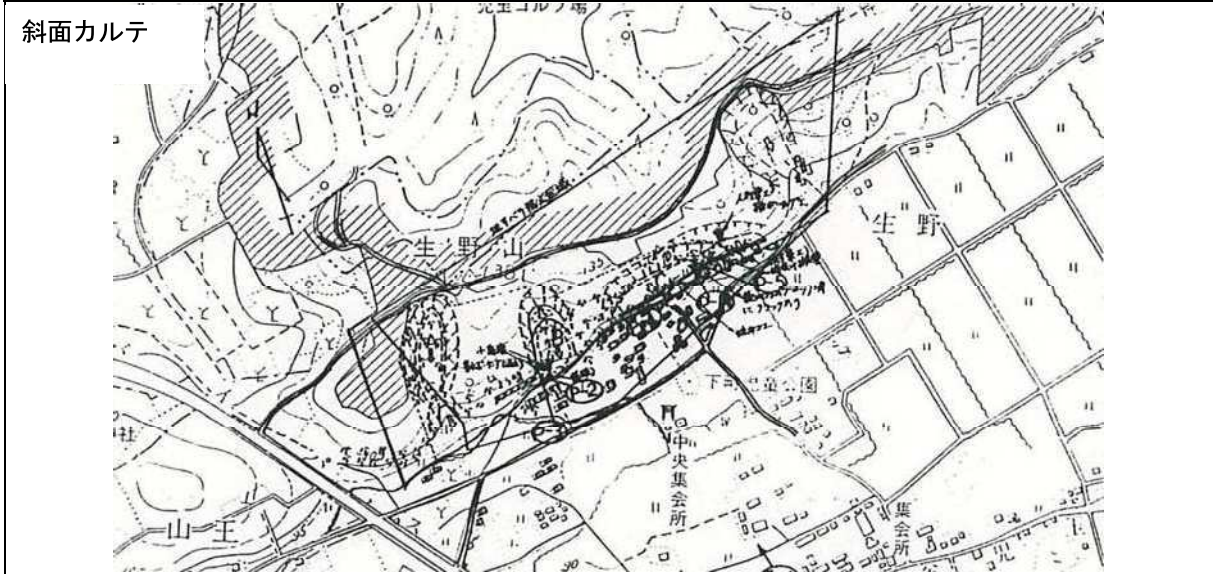
整理番号 ; 4-12	箇所名 ; 寺山	位置 ; 児玉郡児玉町大字河内字寺山
-------------	----------	--------------------



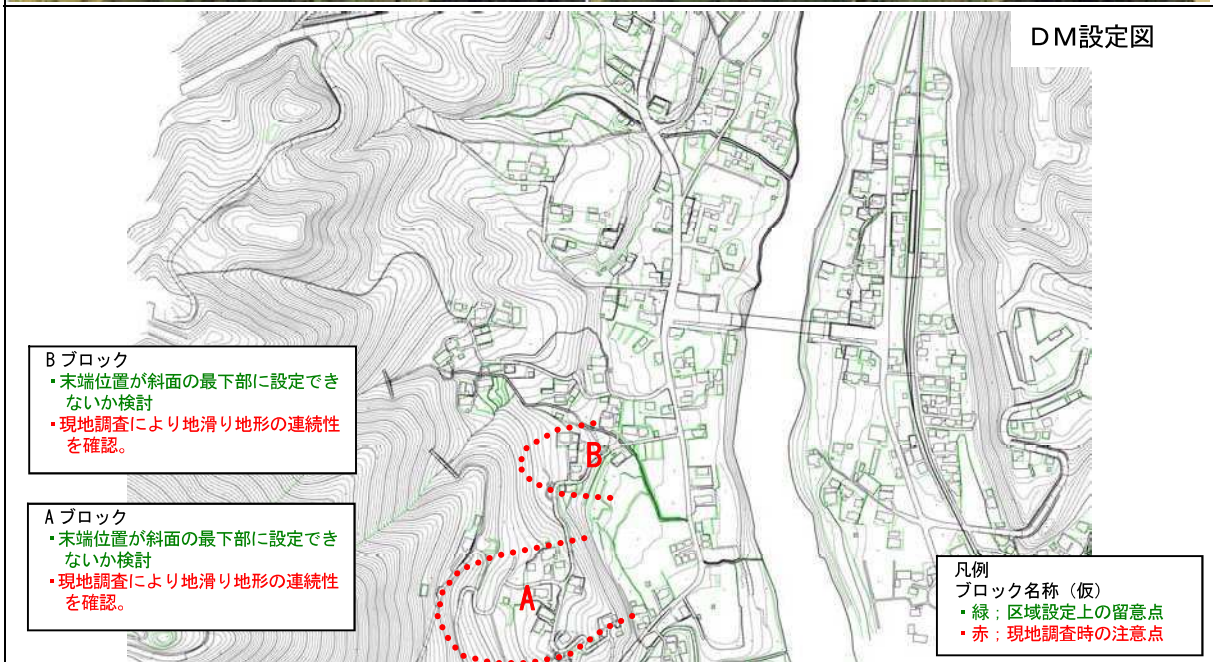
整理番号 ; 4-15	箇所名 ; 下稲沢	位置 ; 児玉郡児玉町大字稲沢字下稲沢
-------------	-----------	---------------------



整理番号 ; 4-17	箇所名 ; 生野山	位置 ; 児玉郡児玉町大字生野山字生野
-------------	-----------	---------------------



整理番号 ; 5-1	箇所名 ; 金尾	位置 ; 大里郡寄居町大字金尾字金尾
------------	----------	--------------------

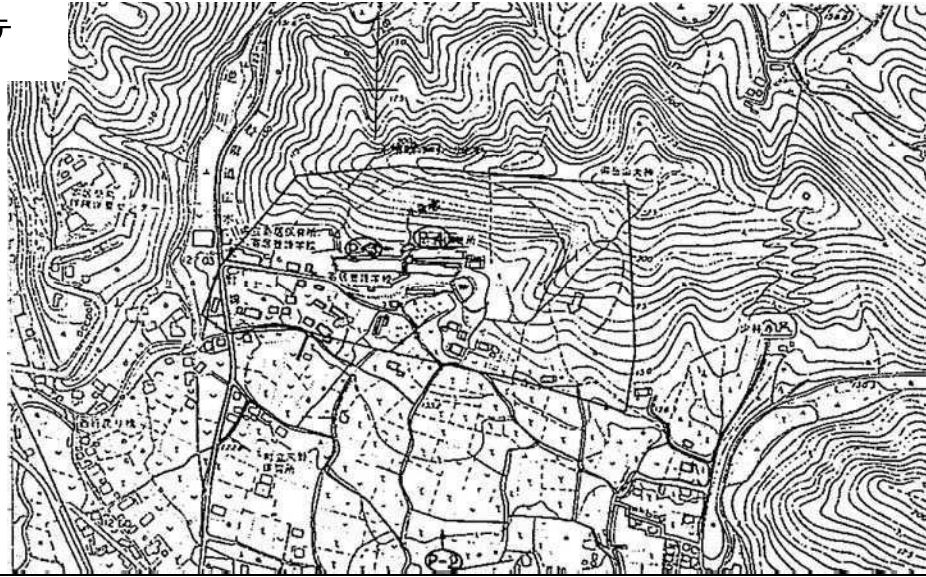


整理番号 ; 5-2

箇所名 ; 未野

位置 ; 大里郡寄居町大字未野字大正宇

斜面カルテ

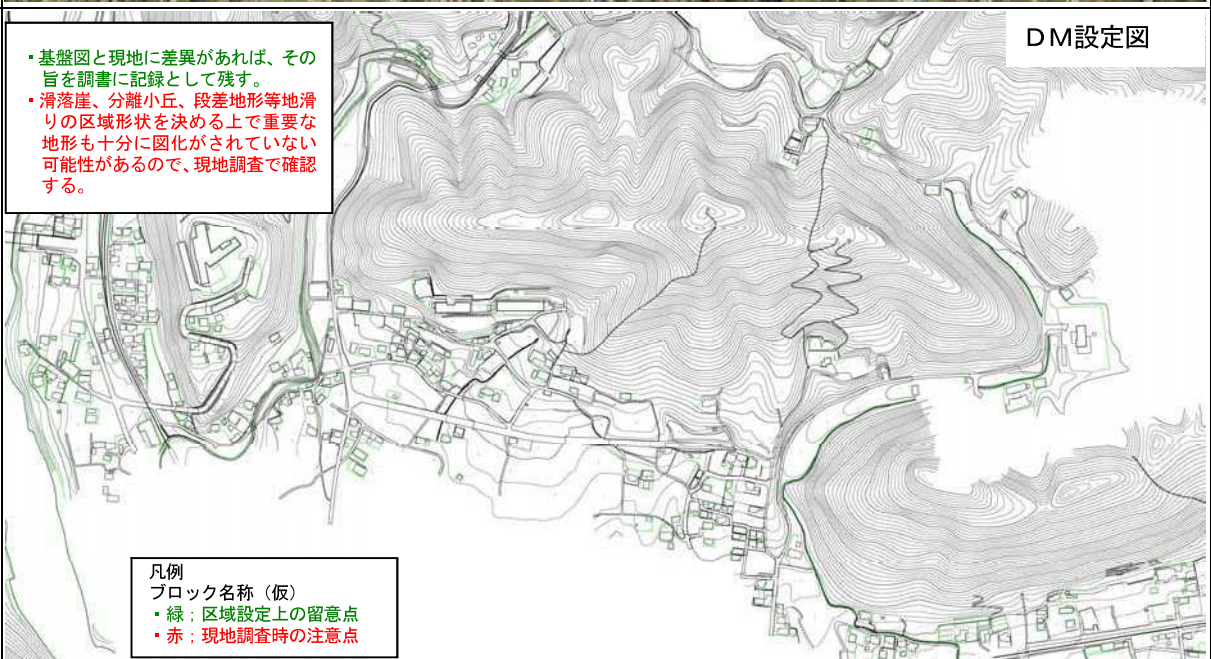


立体視図



- ・ 基盤図と現地に差異があれば、その旨を調書に記録として残す。
- ・ 滑落崖、分離小丘、段差地形等地滑りの区域形状を決める上で重要な地形も十分に図化がされていない可能性があるため、現地調査で確認する。

DM設定図



- 凡例
- ブロック名称 (仮)
- ・ 緑 ; 区域設定上の留意点
 - ・ 赤 ; 現地調査時の注意点

